

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道3号（南九州西回り自動車道） <small>せんだい</small> 川内道路	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 九州地方整備局
起終点 ：自：鹿児島県薩摩川内市都 町 <small>さつませんだい みやごちよう</small> 至：鹿児島県いちき串木野市大里 <small>くしきの おおさと</small>	延長 ：約13.8km	
事業概要 ：南九州西回り自動車道は、八代市から鹿児島市に至る延長約140kmの高規格幹線道路であるほか、九州南西部の地域経済の活性化、高速定時性の確保に大きく寄与する重要な路線である。川内道路は、その一部を構成する延長約13.8kmの道路である。		
H3年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H5年度用地着手
全体事業費 ：817億円		事業進捗率 ：70%
計画交通量 ：28,100～31,000台/日		供用済延長 ：7.3km
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 2.7 (残事業) 11.2	総費用 ：(残事業)/事業全体 161 / 913億円 (事業費：129/844億円) (維持管理費：32/70億円)
		総便益 ：(残事業)/事業全体 1800 / 2496億円 (走行時間短縮便益：1565/2144億円) (走行費用減少便益：148/221億円) (交通事故減少便益：86/131億円)
基準年 ：平成17年		
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡） 物流効率化の支援（特定重要港湾川内港へのアクセス向上） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ：川内道路は、九州南西部の活性化、高速定時性の確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、薩摩川内市をはじめとする関係8市12町の首長及び議長で構成される南九州西回り自動車道建設促進研究会より早期整備の要望（平成17年2月9日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：薩摩川内市の人口は増加傾向にあり、また、平成16年3月の九州新幹線開通に伴う川内駅周辺の住宅開発など、ベッドタウン化が進み、幹線道路である国道3号の交通渋滞が深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：川内道路は平成16年度末に串木野IC～市来IC間が暫定2車線で供用しており、残る隈之城IC～串木野IC間の平成18年度内の暫定供用に向け工事促進している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：川内道路は平成16年度末に串木野IC～市来IC間が暫定2車線で供用しており、残る隈之城IC～串木野IC間の工事を促進し、平成18年度内の全線暫定2車線供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 ：川内道路の隈之城IC～串木野IC間については、道路規格の見直し（第1種第2級から第1種第3級）、縦断線形の見直しによる構造物の縮小を検討し、コスト縮減を図っている。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 ：以上の状況からすれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。		
事業概要図		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。